

下寒氣に向ひつゝある今日此頃御嬖具代乃至御不自由なる御家庭の一助として御便用を願ひましたならば當に本團の目的に副ふばかりでなく寄附者各位の本懐を存じます

本團に於きましては本團員及大方各位の熱烈なる御同情に依りまして海員團體が直接海員及其家族を救護するの最も貴重なる資力を興へられし事を感謝し併せてこれ等救護を受けられたる御家族各位の御健康と御安定の一日も速ならん事を祈り上げます

今回の救護事業を機會と致しまして海員家族は海員團體を通じて始めて意義ある向上と安定を得る觀念を涵養したいと存じます

私共は貴家御一同と共に重ねて茲に各方面の同情各位の御厚志に對し深き感謝の意を表したいと存じます  
御受取の上は御知らせを願ひます

大正十二年十二月一日

神戸市萊町六丁目

非常 震災 海員家族救護團

主催 日本海員組合  
友海友婦人會  
(組合員三〇四五人)  
(會員三五〇人)